

Minami Kyushu University Syllabus									
シラバス年度	2025年度	開講キャンパス		宮崎キャンパス		開設学科		国際教養学科	
科目名称	観光事業論					授業形態		講義・演習	
科目コード	534020	単位数	2単位	配当学年	2	実務経験担当教員			Active・L ○
担当教員名	林 欣也							ICT活用	
授業概要	この授業はフィールド科目として、PBL(プロジェクトベースドラーニング)型授業を取り入れている。学生が主体的に観光客誘致のための地方創生施策を調査研究し、宮崎県の魅力を探索及び観光客誘致に貢献できることを目的とした観光プロジェクト授業である。また、観光の時事問題にも触れ、今後の宮崎の観光事業の取り組みについても考察することを目的とする。例えば、宮崎観光の最大の課題は公共交通機関を利用したアクセスの問題があげられる。各グループに分かれて公共交通機関(路線バス)を利用したモデル観光ガイド(パンフレット)を計画作成しその案に基づき実際に体感する。その後、反省点を検討し最終的に観光コース毎のパンフレット及び冊子を作成。さらにその結果を発表する授業である。								
関連する科目	観光ビジネス実務総論								
授業の方法と進め方	グループワークで協議を行い、その内容について「パンフレット」「冊子」を作成し、最終的には課題解決に向けた企画・提案を発表していただきます。								
第1回	オリエンテーション: 授業の進め方、目的、到達目標、評価方法等の説明								
第2回	宮崎県の観光事情を知るⅠ: 宮崎県の観光イメージの変遷並びに誘客のためのキャッチフレーズを考える。(グループワーク)								
第3回	宮崎県の観光事情を知るⅡ: 宮崎県の誘客のための地方創生と観光事業施策について学びます。								
第4回	誘客のためのプラン作り:グループワーク①テーマ・情報収集・アイデア出し・計画を立案する。								
第5回	誘客のためのプラン作り:グループワーク②体感学習に向けた旅行プラン制作案を考える。								
第6回	誘客のためのプラン作り:グループワーク③: 校外学習(体感学習)として自分達の立てたプランに沿って実行する。								
第7回	誘客のためのプラン作り:グループワーク④: 体感学習に基づき宮崎観光資源の調査・研究を行う。								
第8回	誘客のためのプラン作り:グループワーク⑤: 体感学習に基づき考察・企画を行う。								
第9回	誘客のためのプラン作り:グループワーク⑥: 体感学習に基づき誘客観光パンフレットおよび冊子作成を行う。								
第10回	誘客のためのプラン作り:グループワーク⑦: 体感学習に基づき観光パンフレットおよび冊子作成を行う。								
第11回	誘客のためのプラン作り:グループワーク⑧: 課題資料提出(レジュメ&冊子&プレゼン)および推敲を行う。								
第12回	誘客のためのプラン作り:グループワーク⑨: プレゼンテーションと指導者によるフィードバックを行う。								
第13回	誘客のためのプラン作り:グループワーク⑩: プレゼンテーションと指導者による評価を行う。								
第14回	宮崎の今後の観光「2040年問題」を考えて、観光の在り方を学ぶ。								
第15回	振り返りと総まとめ								
授業の達成目標	・宮崎の観光事業について学び、観光について考察することにより、郷土愛・地域貢献への意識を高め、観光客誘致への視点を持つようになる。 ・訪日観光客の需要増に向けての促進策を提案できる。								
学修成果との関連	1.自ら考える能力を有する。								
授業時間外学習【予習】	〈予習〉 関連情報を収集しまとめる(1時間程度)								
授業時間外学【復習】	〈復習〉 課題研究を冊子、パンフレット等にまとめ、プレゼンの準備を行う(1時間程度)								
課題に対するフィードバック	小テストの採点結果等の解答解説については返却後の授業にて行います。冊子、パンフレット、プレゼンに関しては、適切な指導と助言を行う。								
評価方法・基準	・理解度確認小テスト70点、プレゼンテーション30点(冊子・パンフレット含む)。								
テキスト	適宜、プリント教材等を配布します。								

参考書	『必要に応じて図書、資料を紹介する。』
備考	